



田中みきお
の約束
2024

「なんと新時代！
緑の里から未来を創る」



「なんと新時代！緑の里から未来を創る」

○私の覚悟

南砺市が誕生（2004年11月1日 4町4村合併）して20年。合併年に生まれた子供たちが20歳を迎えます。

市民の皆様のご理解とご協力で一体感の構築の中で、南砺市は着実に発展しています。

しかしながら全国的な地方における人口減少の中で特に若い人の流出が多いことが市の一番の課題であり、その解決に向けてこれからもしっかりと取り組んでいかななくてはなりません。

16年前に多くの皆様に応援を頂き初当選させていただきました。以来、市民の皆様並びに議会の皆様のご理解とご指導をいただきながら「市民の幸福感と満足感の向上」の一念で市政に邁進してまいりました。

市民の皆様との対話と情報共有を重視し、難題にも果敢に取り組んできたつもりです。

特にSNSを積極的に活用し、スピード感をもって情報発信を行ってまいりました。

南砺型地域包括医療ケアや南砺型小規模多機能自治といわれる住民自治の確立、分庁舎方式から、限られた職員による質の高いサービス提供を目指した統合庁舎への移行、併せて庁舎機能の無くなった地域のまちづくりも進めています。

エコビレッジ構想及びSDGs未来都市の推進が、PLAY EARTH PARKの誘致につながりました。

旅の目的地になる全国でも有名なレストランもできました。

優れた各種芸術文化の世界への発信、世界遺産五箇山、日本遺産井波、ユネスコ無形文化遺産等により、確実に南砺市の新しいイメージが確立されたと思います。

城端線・氷見線の再構築もスタートしました。これからは市域内地域公共交通の再構築と学校や部活動のあり方についても次のステージに進みます。他にも市内には多くの新しい事業が芽吹いてきています。このようなフォローを大きな帆で受け南砺市の未来を描いていきます。

少しこの16年間に振り返りますと。

- 1期目 がむしゃらに行動する市役所を目指し地域回り
- 2期目 住民自治と協働のかたちづくり。そして地域包括医療ケア
- 3期目 統合庁舎への移行と小規模多機能自治によるまちづくり
- 4期目 コロナとの戦い、世界各地で続発する紛争等による物価高騰と円安対策。そして城端線

市長在職期間中様々な活動に従事する中、全国に広い人的ネットワークも構築できました。

今後とも、市民一丸となって「世界に誇れる 誰でも暮らしやすいまち 南砺」を目指し、最大限の努力と責任を果たす所存であります。

世の中が大きく変わろうとしている今こそ、南砺市で育てていただいたことに対する私自身の感謝の思いを込め、市民の皆様の大きな負託を受けて、南砺市民の幸せのため引き続き市政に勇往邁進していく覚悟です。

市民の皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

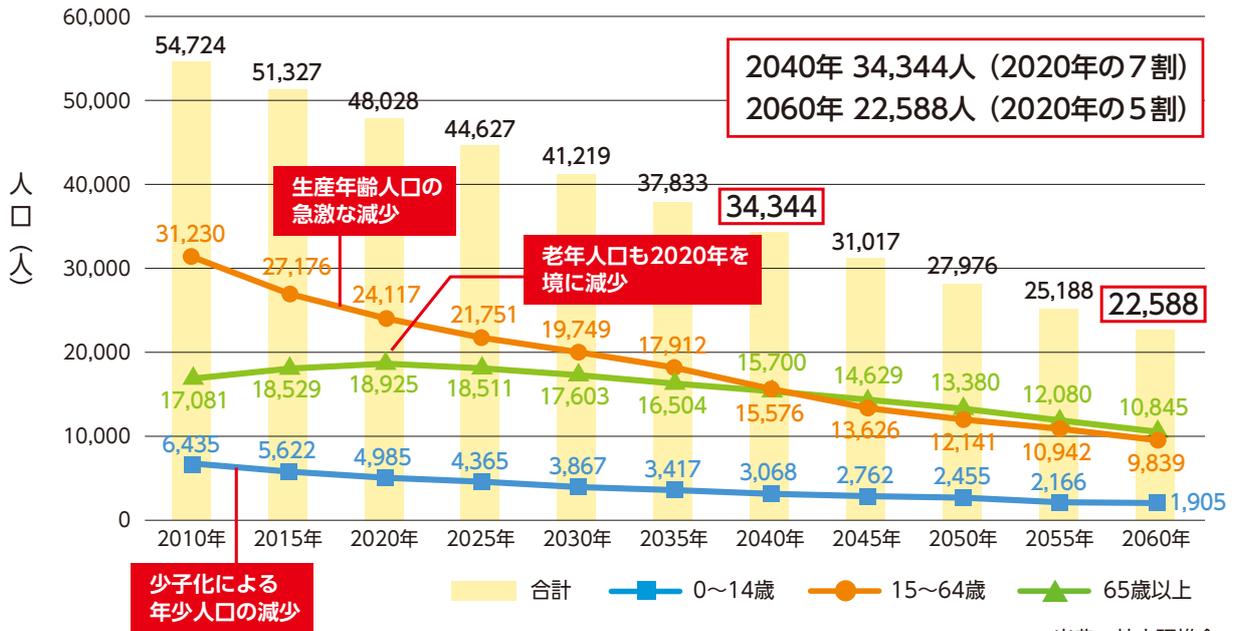
田中幹夫

I データーから見える南砺市の課題（人口、財政指標、公共施設再編）

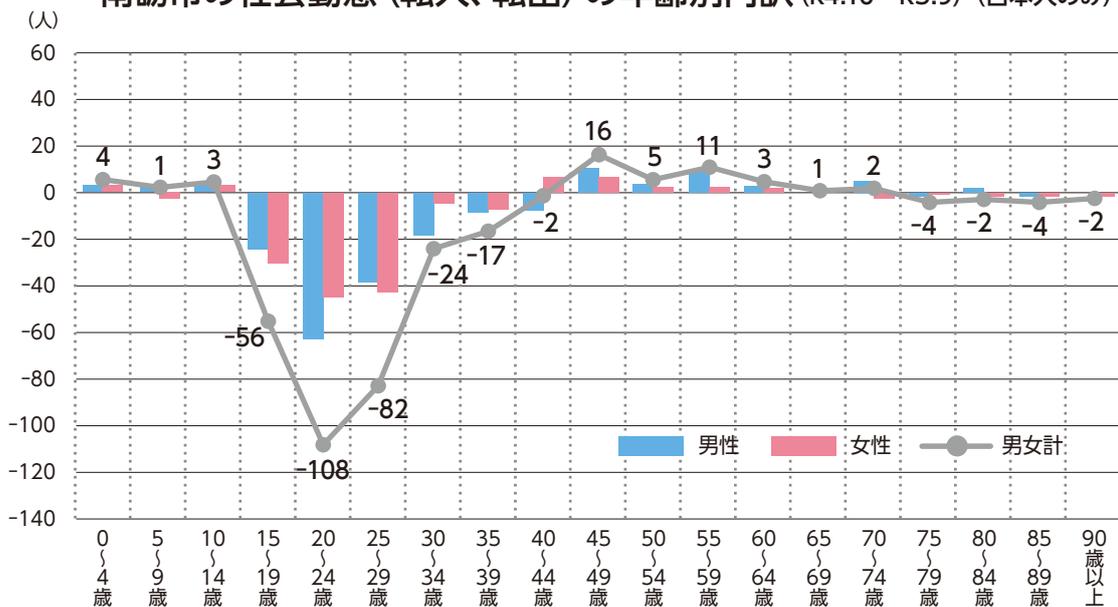
① 人口

本年度策定予定の「第2次南砺市総合計画 後期計画」について議論を深め、人口減少対策の強化、小規模多機能自治の更なる推進、全ての世代への地域共生社会の実現、病院や小中学校のあり方といった更なる行財政改革などを、次世代を担う子どもたちが笑顔で暮らし続けられるようまちづくりを進めていきます。

南砺市の人口推計



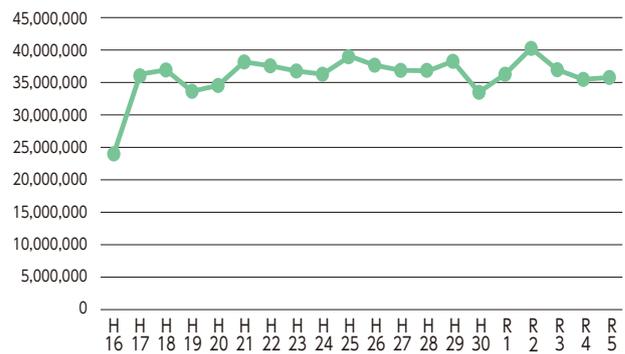
南砺市の社会動態（転入、転出）の年齢別内訳（R4.10~R5.9）（日本人のみ）



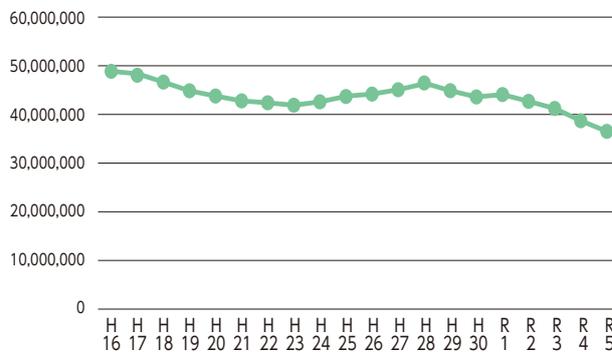
2 財政状況

財政面では、町村合併の最大の利点である合併特例債等を安全安心なまちづくりを中心に積極的に有効活用し、市道整備事業や小中学校の大規模修繕事業などを計画的に進めてきたほか、地方債の計画的な繰り上げ償還の実施により、市債残高の減少に加え、重要な財政指標であります実質公債費比率は、合併当初から大幅に改善しております。現時点の将来負担比率もゼロであることなどから、健全な財政運営に努めてきた結果でありおおむね順調です。

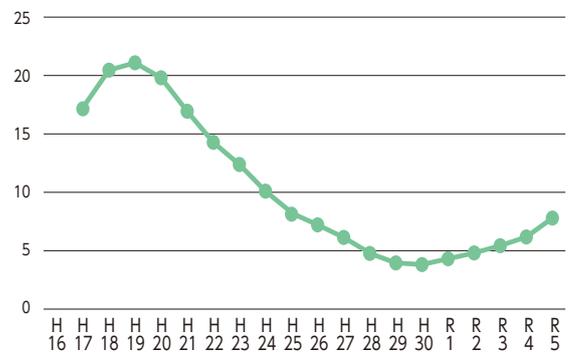
歳出決算 (千円)



起債残高 (千円)



実質公債費比率 (%)



合併特例債充当主要事業 (参考)

事業名	充当額 (千円)
市道整備事業	6,717,600
児童福祉施設整備事業 (統合保育園)	4,654,000
合併地域振興基金造成事業	3,800,000
都市計画街路整備事業	3,152,800
特別養護老人ホーム福寿園改修事業	1,520,800
やすらぎ荘改築事業	1,401,600
南砺市立福野小学校改築事業	1,189,000
井波小学校大規模改修事業	1,002,700
井波中学校大規模改修事業	861,500
福光斎場建設事業	846,500
農道整備事業	766,800
農業農村整備事業	758,100
南砺市立城端小学校改築事業	660,800
新中央図書館整備事業	529,300
消防施設整備事業	458,300
その他	7,551,600
合計	35,871,400

合併以来の歳出決算額、起債残高、実質公債費比率等調

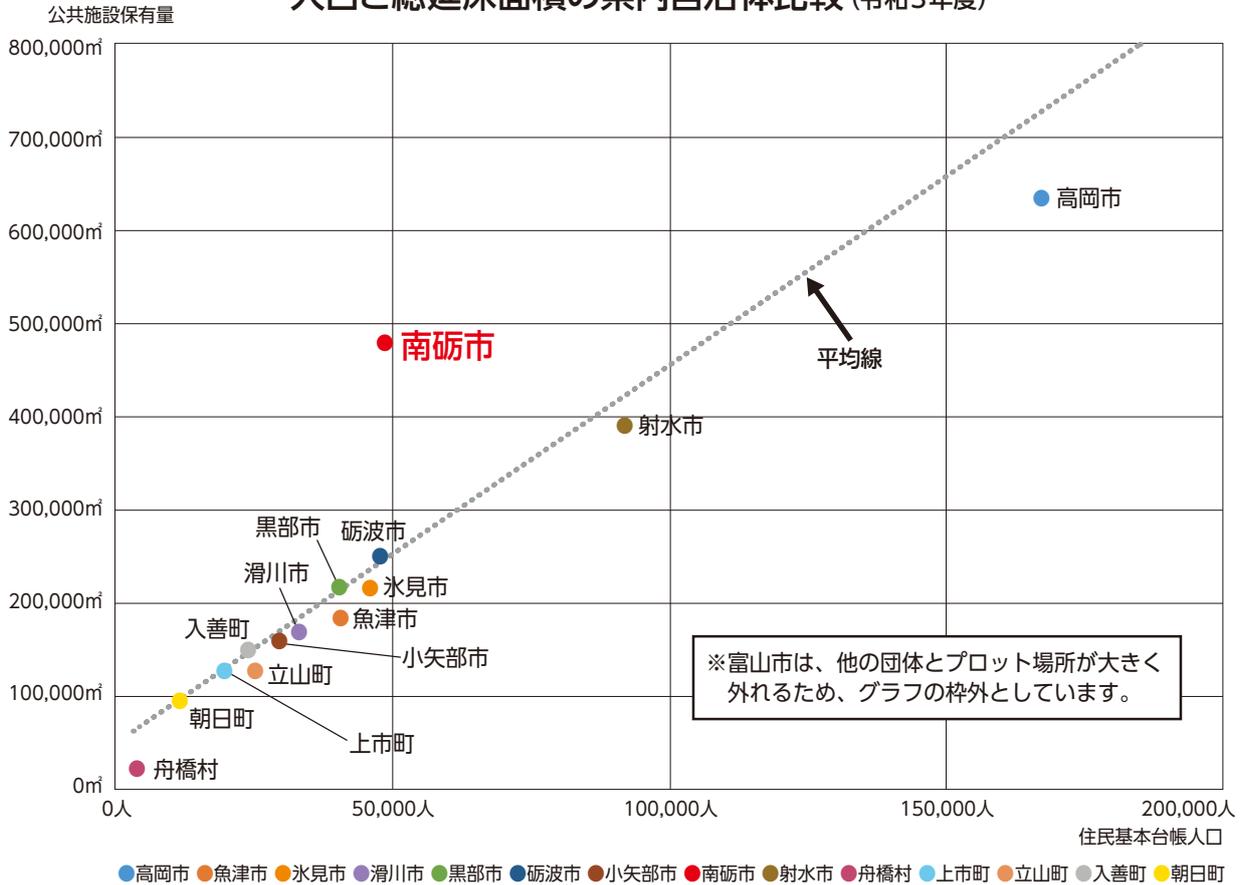
	歳出決算 (千円)	起債残高 (千円)	合併特例債発行額 (参考) (千円)	繰上償還額 (参考) (千円)	実質公債費比率 (%)
H16	24,213,769	48,525,185	3,867,500	0	
H17	36,247,021	47,959,556	1,712,400	0	17.2
H18	36,969,862	46,765,972	2,498,200	0	20.5
H19	33,807,003	44,612,476	2,252,500	1,026,605	21.2
H20	34,728,684	43,749,682	3,100,900	901,733	19.8
H21	38,311,268	42,536,046	2,516,400	956,379	16.9
H22	37,653,072	42,195,694	1,920,400	908,600	14.3
H23	37,018,798	41,692,256	2,706,100	1,001,025	12.4
H24	36,367,480	42,464,398	3,037,300	1,021,867	10.1
H25	39,031,438	43,450,953	1,542,000	1,118,467	8.1
H26	37,567,697	44,069,126	1,631,400	1,019,990	7.2
H27	37,079,869	44,722,709	2,005,600	1,140,767	6.1
H28	37,049,944	46,299,838	2,750,000	1,096,766	4.7
H29	38,254,285	44,646,580	1,344,000	1,779,442	3.9
H30	33,448,098	43,379,242	1,427,000	797,287	3.7
R1	36,264,519	43,694,924	1,293,200	0	4.3
R2	40,180,868	42,465,087	266,500	0	4.8
R3	36,674,930	40,930,459	0	0	5.4
R4	35,486,163	38,553,482	0	0	6.1
R5	35,850,114	36,199,837	0	0	7.8

3 公共施設の再編

「将来世代への負担を無くす」「持続可能な財政運営を」

このためには老朽化する施設の改築や修繕費用が高むことから公共施設再編計画を計画通り進めなくてはならない。

人口と総延床面積の県内自治体比較 (令和3年度)



●県内の他団体との比較において、平均である図表内の直線に比べて左上に位置しており、人口に比して建物総延床面積は依然として多い状況にあるといえる。

公共施設の維持修繕費及び構成比率の呉西6市自治体比較

市町村名	維持修繕費 (千円) ※道路、橋梁等インフラ施設含む			(参考) 人口1人当たり (円)
	R1年度	R2年度	R3年度	
南 砺 市	729,142	1,290,758	1,456,030	29,945
高 岡 市	531,065	1,350,259	1,210,641	7,240
氷 見 市	243,254	455,578	367,346	8,180
射 水 市	693,590	1,408,416	1,228,207	13,382
砺 波 市	232,842	532,803	531,195	11,153
小 矢 部 市	187,944	392,307	357,173	12,326

出典元：決算カード

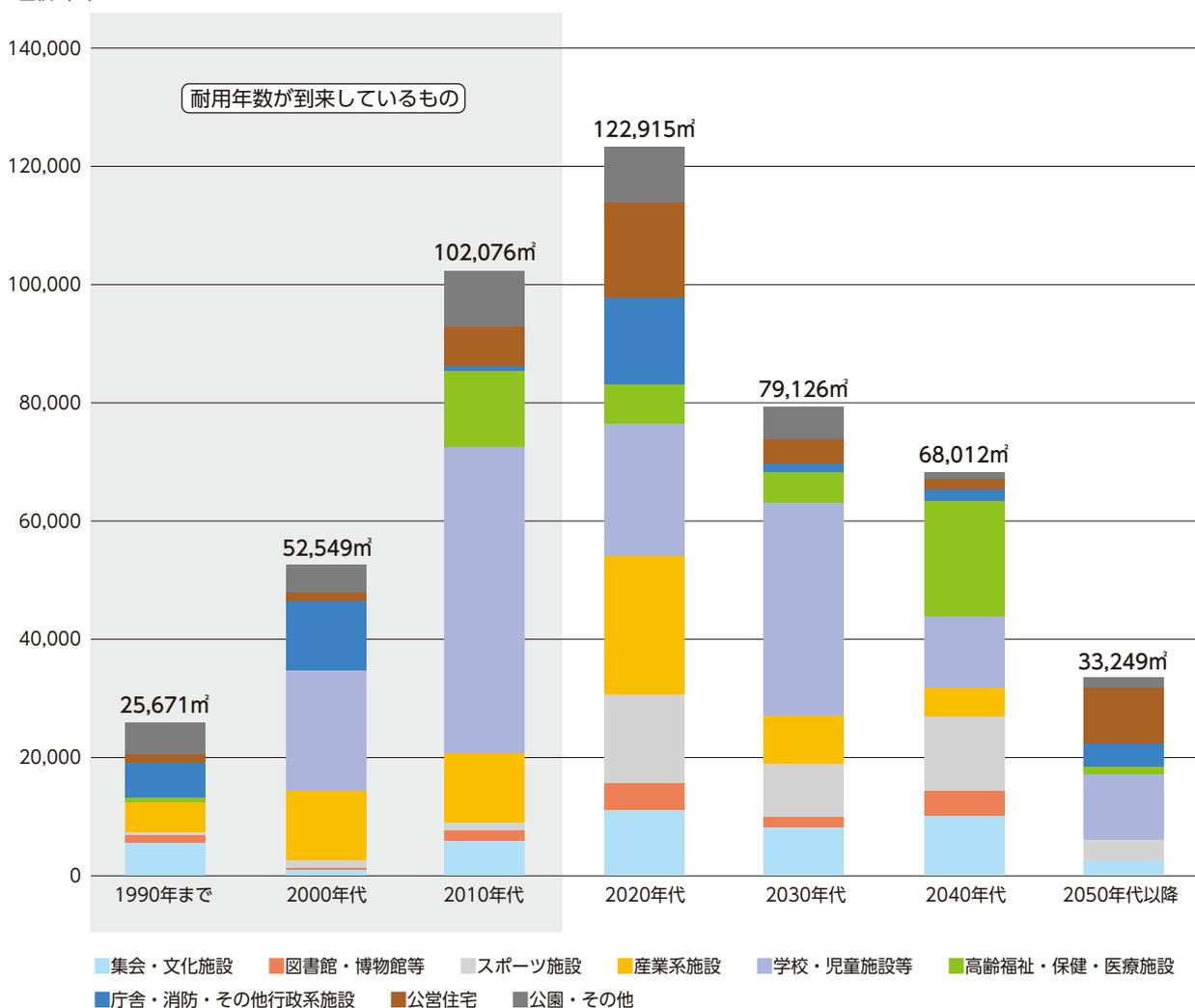
耐用年数到来年代別 施設分類ごとの合計面積

(単位：㎡)

分類	耐用年数が到来しているもの							合 計	
	年代	1990年まで	2000年代	2010年代	2020年代	2030年代	2040年代		2050年代以降
集会・文化施設		5,739	1,018	5,952	11,077	8,277	10,066	2,624	44,753
図書館・博物館等		1,374	244	1,506	4,432	1,986	4,154		13,696
スポーツ施設		51	1,387	1,292	15,184	8,793	12,630	3,448	42,785
産業系施設		5,045	11,548	11,714	23,117	7,836	5,141		64,401
学校・児童施設等		0	20,454	52,047	22,516	36,352	11,982	11,186	154,537
高齢福祉・保健・医療施設		1,053		12,603	6,480	4,753	19,102	1,037	45,028
庁舎・消防・その他行政系施設		5,578	11,671	788	14,736	1,285	2,260	3,815	40,133
公営住宅		1,717	1,736	7,172	16,068	4,586	2,007	9,643	42,929
公園・その他		5,114	4,491	9,002	9,305	5,258	670	1,496	35,336
合 計		25,671	52,549	102,076	122,915	79,126	68,012	33,249	483,598

出典：南砺市公共施設等総合管理計画〈改訂版〉（R5.3改訂）

面積（㎡）



私は芸術文化資産と自然豊かで全ての方が笑顔いっぱい暮らせるまちを目指します。

数年後のまちのイメージ 「こんな南砺市になります」

世界から注目される芸術文化と観ても参加しても楽しいお祭りや民謡踊り、世界文化遺産の合掌造り集落も私たちの誇りです。

そしてなんととっても緑豊かな自然と散居村で有名な砺波平野も広がります。

子どもたちは元気。子どもの権利については大人も子どもも理解していて、まちの将来を一緒に考えます。最近是有機野菜の給食も増えました。

おじいちゃん、おばあちゃんも元気に地域の全ての皆さんと一緒に楽しく暮らすことのできる地域共生社会を創る仕組み「小規模多機能自治」があります。

不便だった私たちの移動も城端線の電車はカッコよく、ダイヤも増えて駅の周りもお店も人も増えました。駅からはバスやタクシー、オンデマンドタクシーのほかに公共ライドシェア、無人運転バス、自転車、カーシェアリング、といった全ての移動手段があり、部活動の子供たちや障がいのある人たちもとっても便利になりました。

今じゃ新幹線や飛行機を使うと東京まで3時間以内で行けます。ちょくちょく東京へは買い物や食事に出かけます。

高速道路も4車線化となり安全で便利になりました。名古屋まで2時間ちょっと。

仕事もテレワークが増え、南砺に住みながら十分生きがいのある仕事を選べます。

家庭も職場も地域も男女平等で若い人も暮らしやすくなり、子どもたちの笑い声も増えました。子どもの遊び場も増え、子育てのしやすさも抜群です。

プレイアースパークという全国でも話題の施設がオープンし、多くの皆さんが訪れます。

市民は環境への意識も高くカッコいい大人がいっぱいです。

最近美味しいお店も増えてレストランやお店には海外からのお客さんが増えています。

私もまち歩きが大好きです。

移住される新市民が増えています。もちろん「生まれてよかった」「ずーっと済み続けたい」を言う若い方も増えています。多様性と寛容性で成熟したまちに生まれ変わったようです。

医療体制も医師や看護師、医療関係従事者の確保が難しい中で医療圏単位でも市内でも機能分化が進み、効率の良い、安全で暖かい医療が提供されています。

市の財政も将来の若い人に負担がないように考えて進められています。

南砺に住んでほんと良かったと思います。



Ⅱ 最重要課題に取り組みます。

① 人口減少問題と二地域居住

全ての施策が深く関係します。そこで総合計画をしっかりと検証し、新たな後期計画を作り上げ、実行し、成果を上げ、必ずや消滅可能性自治体から脱します。

地方の人口減少は地方自治体だけの問題ではありません、国のリーダーシップの上で「二地域居住」などの制度化をはじめあらゆる政策を実行すべく要請をして実現します。

「二地域居住」とは関係人口の先をいく政策です。住民票は南砺市には無いが、さまざまな形で南砺市に通って、時には滞在してまちづくりや課題解決に向けて取り組んで頂く人が増えてきている。そんな方々をふるさと住民として登録する制度を設け、第二住民として活躍いただけるよう支援する仕組みを作ります。

また、国にはこの制度を法律で明確化し、住民税の分割や地方交付税の算定基準にするなどの制度改革を働きかけをしていきます。

総合計画の内容

「誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ」

1、未来に希望がもてるまち

- ①子どもや若者がなんとで成長し、将来にわたって心豊かな生活を送ることができるよう、施策に国のこども大綱やこどもまんなか実行計画に基づいた総合的な取り組みを進め、地域全体で育を支える体制を整え、充実した子育て環境の周知にも務める。
- ②児童生徒数が減少しても学校が楽しいと思ってもらえるよう、市立学校の統合の協議を含め、教育環境の充実について協議を進める。
- ③子育て世代へ経済的支援の実施や就労課題、住宅課題、通勤通学課題などへ総合的に取り組む必要がある。また、固定的性別役割分担意識を解消し、男性の育児参画が当たり前になるよう、地域を巻き込んだ「共育て」を推進していく。
- ④若者が南砺でいい出会いができるよう、仲間を増やせる交流の機会や参加したくなる出会いの場などの創出に支援する。
- ⑤プレコンセプションケアを広い視野で幼児期、学童期、思春期と段階を追って実施し、早い段階から正しい知識を得る機会を設けることで、キャリア形成のみならず家族形成を含めたライフデザインの形成と実現を支援する。
プレコンセプションケア：若い世代のためのヘルスケア

・新たな命の誕生と健やかな子どもの成長を応援

子どもの遊び場・子どもの居場所の充実
子育て世代が交流できる場、ネットワークの提供
「共働き世帯」への支援。「共育て」の推進
ヤングケアラー対策

・未来に夢と希望を持てる教育環境の充実

スポーツや文化活動の持続可能な環境整備

・若者のライフデザインの実現を応援

婚活やスタートアップの支援



2、多様な幸せを実感できるまち

- ①障がい福祉や介護、看護等のスタッフ不足について、修学資金貸与制度の拡充や実地研修受け入れの充実、民間人材派遣業者の利用など、富山県や事業所と連携し、スタッフの確保に務める。
- ②多様な生き方や考え方を受け入れる、寛容な社会の実現を目指す。合わせて市におけるジェンダーギャップの実態を可視化し、その解消を目指す取り組みを検証するための庁内組織体制を構築する。
- ③個人、家族が抱える課題が多様化し、複雑化しており、社会福祉、医療、教育、就労支援など異なる領域が連携した支援体制や地域づくりに務める。

・心身ともに健康で暮らしやすい社会づくり

地域共生社会の実現

・地域とともに取り組む医療・福祉の充実

高齢者・障がい者など医療福祉体制の確保

・誰もが活躍できる寛容な社会づくり

アンコンシャスバイアスの解消

ジェンダーギャップ解消

多様性と寛容性なまちづくり

アンコンシャスバイアス：無意識の偏ったモノの見方



3、心豊かな暮らしができるまち

- ①若者、女性が活躍できる魅力ある企業の増加と市内就業の促進を図るため、働き方改革や魅力発信を支援するとともに、プレイアースパーク事業とも連携していく。
- ②若者や単身者の居住の支援を行うため、ニーズ把握につとめ、市内のアパート建築やシェアハウス増加のための支援を図る。
- ③「城端線の再構築」や「市営バス」など公共交通の最適化、D X技術の活用による利便性の向上を図り、誰もが移動しやすく持続可能な公共交通を目指す。
- ④「観光」を活用した「持続可能な地域経営」（まちづくり）を推進するとともに、農林業やブランド商品、観光サービスにおいて脱炭素やゼロカーボンといった環境と経済を両立する視点で高負荷価値化（商品、サービス）を進める。また、稼ぐ農業・林業に向けたD X技術の導入や、稼ぐ力をあぶりだすデータ分析の活用をしていく。

・若者に選ばれる魅力あふれる地域づくり

希望に合う就業への支援

若者の住まいへの支援

・誰もが暮らしを楽しめる生活環境の充実

誰もが移動しやすい公共交通の構築

・地域の活力を支える産業の発展

既存産業の生産性向上への支援

世界に目を向けた観光の育成



4、皆で考えともに行動するまち

- ①昔ながらの町並みや地域固有の景観は市への愛着を深め、誇りを醸成するための重要なコンテンツとなっていることから、継続して保全に取り組むとともに、ふるさと教育を推進し、自分のふるさとを知り、地元への定着や若者層だけでなく、あらゆる世代の住民がふるさとを知り学ぶ機会を創出していく。
- ②高校生や若者が実施する事業を地域に発信し、地域との結びつきを広げ、若者を含む市民のまちづくりへの意識向上に繋げるとともに、地域の魅力を常に更新しながら継続的かつ戦略的なシティプロモーションを行う。
- ③小規模多機能自治による地域活動の活性化と地域力の底上げが必要であり、協働のまちづくり支援センター（なんと未来支援センター、南砺幸せ未来基金）といった中間支援組織と連携し、人材育成を行いながら、さらなる各地域の自発的・積極的な地域の課題解決の取り組みに繋げる。
- ④二地域居住を推進し、市への人の流れの創出・拡大を目指すため、市外に住みながらも市との関係性を構築する人を支援する。

・南砺の暮らしへの誇り・愛着の醸成

日本の現代舞台芸術とワールドミュージックを南砺から世界へ

・みんなが参加し、ともに取り組むまちづくり

若者ネットワークの構築

・内外に向けた効果的な魅力の発信

シティプロモーションの推進



2 地域公共交通の課題

地域公共交通はまちづくりの原点。誰もが自由に移動できるまちづくりを。

●城端線氷見線再構築と地域公共交通

昨年富山県と沿線4市とJR西日本、あいの風富山鉄道で協議を進め、国の認可を受けた「城端線氷見線再構築計画」の確実な進捗を目指します。来年度には全駅に交通系ICカードの改札機が設置され、認定から5年後を目処に全車新型車両への更新、パターンダイヤ化を目指します。

城端線は南砺市の地域公共交通を考えると大変重要で、今回の再構築事業は未来への投資でもある。これからも地域公共交通の「幹」としてしっかり支えていかななくてはならない。

同時に「幹」である城端線の利便性が高まる中で「駅を中心としたまちづくり」を進め、駅からのバス路線を「枝」として、タクシーや市営バス、オンデマンド交通、そして昨年から中心的に取り組んできた「公共ライドシェア」、スクールバスや病院バスも考慮し、自動運転バスなどにもトライしながら、南砺市型Maasで「全市民及び来訪者のための移動の足」を確保する新たな地域公共交通体系を確立します。

●公共ライドシェアやAIオンデマンド、自動運転などの導入

昨年からは会長を仰せつかっている「活力ある地方を創る首長の会」で実装に向けて取り組んできた「公共ライドシェア」や「AIオンデマンド」について本年度「データ連携基盤とアプリ」の開発に国の補助金を頂き取り組んでいる。南砺市型Maasは全国のモデルとなる事業であり、タクシー事業者やバス事業者などの地域交通事業者の皆さんのご理解を頂きながら、一緒に取り組んでいきます。

国も交通空白地の解消に向けた支援に取り組むというこのタイミングに新しい形で、全市民、観光客、ビジネス客も含めた地域公共交通を目指します。

3 地域医療の課題

持続可能な地域医療提供体制改革に着手

市立病院における医師や看護師など医療従事者の不足は危機的な状況にある。新規採用職員の確保も年々難しくなっており、地域医療の安定的な提供（山間部におけるへき地域医療の提供を含む。）が危ぶまれる。「医療従事者の不足」が「医療従事者への負担増」につながり、さらに「新規採用者が集まらない」という悪循環に陥っており、医療資源の最適配置を通じた勤務環境の改善が急務である。

また、こうした状況下にあるにも関わらず、近距離にある市立2病院では17の診療科が重複している現状にある。こうした運営は、医療従事者の分散により病院運営の維持をさらに困難にするとともに、症例数の分散により医師確保にも悪影響を与えている。今後、団塊の世代の高齢化に伴い、多様な医療ニーズへの対応が必要になる中で、市立2病院の明確な機能分化による医療従事者の確保と医療の質の維持・向上が急務である。

加えて、市の一般会計から病院事業会計への繰出金は、現在、年当たり11億円程度を支出（表I参照）しているが、一般会計の財政見通しを踏まえると同規模での繰出を維持することは困難であり、病院事業が自らの経済性を発揮し、経営基盤を強化していくことも重要な課題である。

地方公営企業法を適用する本市の病院事業について、「経済性の発揮」と「公共の福祉の増進」を目標に掲げ、市立2病院の壁を超えた経営強化と地域医療の維持・向上のための医療機能の再編を行う。

1、医療機能の再編

市立2病院を存続させ、質の高い地域医療を将来にわたって提供するため、救急機能と急性期機能を1箇所に集約させるとともに、日常生活への復帰拠点となる回復期機能の充実をはかる。

2、地域診療の拠点の創設

山間へき地診療や民間開業医の不足をカバーするため、南砺市民病院の総合診療医が中心となった地域診療拠点の創設を検討する。

3、医療局の設置

市立2病院の一体的運営を行うとともに、病院経営の強化や2次医療圏内での地域医療のあり方を検討していくため、医療局を設置し、医療課および市立2病院の事務局を統合する。

表I 市立2病院への一般会計繰出金

百万円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基準内	792	904	1,048	1,041	969
市民病院	428	447	555	542	492
中央病院	364	457	493	499	477
基準外	451	353	217	143	132
市民病院	168	142	59	0	0
中央病院	283	211	158	143	132
合計	1,243	1,257	1,265	1,184	1,101

(参考) 地方公営企業法 (昭和27年法律第292号) 抜粋

(経営の基本原則)

第三条 地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

その他の政策についてももしっかり取り組みます。



人づくりは最高の地域づくり 多様な教育環境を整備します。

非認知能力を伸ばし、コミュニケーション能力を高める教育環境の充実

フリースクールの支援

山村留学と南砺平高等学校の未来留学の支援

アントレプレナー教育の場としてヒューマンデザインセンターの応援

若者や女性の起業など社会進出とキャリアアップを支援します

「こどもの笑顔クリニック」ほかこどもの相談窓口の拡充

生きる力を育む保育の充実 (自然保育と森の保育園)

こどもの権利推進「こどもも大人もともに幸せに暮らせるまち」の実現を目指す

(仮)こども・若者パブリックコメントの設置 (意見表明、参加の機会の保障)

幼児期からの生きる学び (段階的な性教育、人権教育)

こどもまんなか社会の実現に向けたこども・子育て家庭への経済的支援と伴走型支援

学校のあり方検討会において最良の学習環境を整えます





産業振興と地域経済を盛り上げます。

物価高騰は全ての営みに大きな影響を与えています。タイミングを失することなくインパクトのある支援策を打ちます。また、基幹産業である農業は担い手不足の中で現在集落営農の再構築の議論も進めており、今後もスマート農業の推進も含めて進めていきます。また有機米や野菜を使った給食など増やしていきたいと思えます。また、南砺の特産や食文化は観光産業においても重要ですので観光振興から農林業を盛り上げていかななくてはなりません。

林業においても後継者不足の解消のために「緑の雇用」制度の実施やスマート林業、森林資源の活発な木づかい運動の展開を進めていきます。



文化振興政策をさらに盛り上げます。

日本の現代舞台芸術とワールドミュージックフェスを世界へ
井波彫刻や五箇山和紙など伝統工芸の支援

五箇山民謡、城端曳山祭、福野夜高祭、井波よいやさ祭り、南砺獅子舞など伝統芸能を応援

棟方志功、民藝によるまちづくりを進めます



安全安心インフラ整備

大型事業の進展

利賀ダムと東海北陸自動車道

利賀ダムについては8月11日に念願の本体着工式を迎えることができました。今後は計画通りに竣工を目指して要望活動を進めていきます。また、国道471号利賀バイパス道路については1日も早い供用開始に向けて取り組みます。

東海北陸自動車道の4車線化については、県内区間は既に事業化され、現在、順調に工事が進められています。今後は飛騨トンネルを含む全線4車線化を早期に完成するよう岐阜県の皆さんと協力して取り組みます。

東海北陸自動車道城端スマートインターチェンジが昨年の12月16日に開通し、インターチェンジは市内4カ所となりました。市内の周遊が可能となることで観光や流通に大きな成果を期待できます。

また、それぞれのインターチェンジで設置効果を最大限活かす企業誘致や観光施設誘致などを図ります。



災害復旧事業

昨年7月12日と13日に発生した豪雨災害や元旦の能登半島地震時に被災した災害について国の補助対象となる復旧工事は早期完成を、補助対象外の工事も市単事業として早急に復旧します。

合わせて災害に強いインフラ整備や防災・減災国土強靱化を進めます。



合併支援道路等の早期完了

合併支援道路については20年前の合併まちづくり計画で市民の皆さんとの約束した道路整備です。着手している国道304号（市役所前工区）や井波城端線、砺波福光線、福光福岡線、都市計画道路谷今町線などは早期完成させます。また、都市計画道路百町二日町線は幅員などの協議のうえ早期着手に向けて進めていきます。

金沢福光連絡道については両県、両市の関係者はもちろん関係住民の皆さんと一致団結して一歩前へ進むべく最大限努力します。

本年（仮称）八乙女連絡道については「八乙女連絡道整備計画推進協議会（会長綿貫民輔先生）」が設立されましたので協力して前へ進めます。

4期16年のできごと

2008年（平成20年）

- 7月 5日 北陸自動車道が全線開通
- 7月28日 ゲリラ集中豪雨災害発生
- 11月28日 市長就任（1期目）

2009年（平成21年）

- 2月 2日 ミシュラングリーンガイドジャポンに選ばれる。
- 2月11日 平高校バレーボール部春高バレー決定
- 3月20日 全国椿サミット
- 3月21日 平 上平中 福光西部小 閉校式
- 4月 1日 市民協働課 設置
- 7月18日 クマが福野庁舎へ出没
- 7月30日 南砺福野高校野球部甲子園出場決定
- 7月31日 七転び八起塾開講
- 9月 7日 なんと市民の歌「みどりの里から世界へ」誕生
- 9月25日 ナント君誕生

2010年（平成22年）

- 1月23日 全国放送 はねるのとびらに出演
- 2月 5日 「南砺の地域医療を守り育てる会」発足
- 4月 1日 「市民協働課」をショッピングセンターアスモ設置
観光協会発足
- 4月 3日 南砺市立中央図書館オープン
- 7月24日 なんと里山博開催
- 7月10日 「なんとの日」イベント初開催
- 10月 6日 クレー射撃場オープン

2011年（平成23年）

- 2月 1日 砺波地域消防組合誕生
- 3月11日 東日本大震災発生
- 4月 1日 婚活支援事業 AIP48スタート
- 4月 4日 福野ひまわり保育園開園
- 16日 平中学校改築工事竣工式
- 23日 福野小学校改築工事竣工式

4月30日 綿貫民輔氏に名誉市民称号を贈呈
7月26日 半田市と災害時相互応援協定
9月17日 五箇山に高速バス停設置
9月23日 ローカルサミットin南砺「エコビ
レッジ構想を」

2012年 (平成24年)

3月 3日 井波高校閉校
3月24日 南砺市まちづくり基本条例可決
4月 1日 地域包括医療ケア局設置
4月 5日 福野おひさま保育園竣工式
7月 1日 南砺市まちづくり基本条例施行
27日 特別養護老人ホームやすらぎ荘竣工
10月31日 五箇山世界遺産マスタープランが
完成
11月 3日 もてもてナインティナイン収録

2013年 (平成25年)

2月 2日 全中スキー大会開幕
4月 1日 エコビレッジ推進課設置
4月 1日 南砺市山間過疎地振興条例施行
4日 井波にじいろ保育園 福光南部あ
おぞら保育園竣工
28日 オリジナルアニメ「恋旅」完成披
露試写会
18日 第14回介護保健推進全国サミット
inなんと 開催

2014年 (平成26年)

4月 1日 「南砺で暮らしません課」をアスモ
に設置
4日 福光どんぐり保育園竣工式
8日 上平小学校開校
5月13日 第164回北信越市長会を南砺市で
開催
6月 映画「NORIN10稲塚権次郎」
ロケ開始
7月 1日 南砺市空き家適正管理条例施行
11月 1日 合併10周年記念式典

2015年 (平成27年)

1月22日 内閣総理大臣より 地域再生計画
承認頂く
3月14日 北陸新幹線開通
南砺消防署と防災センター竣工
3月 1日 南砺スマートインターチェンジ開通
4月 1日 中小企業・小規模事業者振興基本
条例施行
6月19日 福光美術館 増築工事竣工式
8月18日 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ
開催

8月18日 利賀サマーフェスティバル 演劇
40周年記念
11月18日 白川郷・五箇山世界文化遺産登録
20周年記念フォーラム

2016年 (平成28年)

3月議会 公共施設再編計画 可決
2月21日 南砺消防署東分署 竣工
4月 1日 24時間定時 随時訪問型介護看護
スタート
4月 5日 福光東部かがやき保育園竣工式
4月15日 棟方志功資料館オープン
4月28日 クリエイタープラザ竣工
8月 利賀ダム 継続決定 東海北陸自
動車道 付加車線設置決定
12月 1日 未明 城端曳山祭り ユネスコ無
形文化遺産登録

2017年 (平成29年)

1月 地域包括ケアセンター竣工式
1月16日 利賀村中村で地滑り災害発生
3月27日 城端児童館 さくらっ子竣工式
5月 4日 全国山鉾屋台保存連合会全国大会
7月21日 東海北陸自動車道 城端スマート
インターチェンジ準備段階調査
採択
8月 5日 東海北陸自動車道 付加車線設置
事業 着工式
8月 7日 砺波広域圏 わらび学園 着工
11月26日 自動運転サービス実証実験開始式
11月28日 文化と教育の最先端自治体連合設立

2018年 (平成30年)

3月11日 福野夜高祭り プロジェクト未来
遺産認定
5月24日 日本遺産認定式「宮大工の鑿一丁
から生まれた木彫刻美術館・井波」
10月14日 利賀地域で利賀ダム工事用道路完
成・一般国道471号利賀バイパス
開通式
11月11日 真宗大谷派城端別院善徳寺の平成
大修復工事の竣工式

2019年 (令和元年)

4月 1日 小規模多機能自治スタート 28地区
7月 1日 SDGs未来都市 モデル事業認定式
全国60自治体 モデル地区20地区
8月23日 シアターオリックス開幕
9月27日 城端スマートインターチェンジ認定
2月16日から18日
とやまなんと国体2020開催。雪不
足の中成功裏に終了。

- 2月27日 新型コロナウイルス感染症対策会議
- 3月 3日より市内小中学校 新型コロナ感染症防止のために臨時休校

- 11月24日 福光高校に青池学園が。
- 12月 1日 城端別院善徳寺にゲストハウスオープン

2020年 (令和2年)

- 4月17日 コロナ緊急事態宣言全国に発令
- 7月 1日 統合庁舎スタート
- 8月31日 利賀ダム変更計画官報告示
- 10月31日 県立南砺平高等学校 創立70周年記念式典
- 11月 7日 東海北陸自動車道 福光IC～城端SA間四車線化共用開始
- 12月 5日 相倉・菅沼集落 国史跡指定50周年記念事業・世界遺産登録25周年記念シンポジウム
- 12月12日 東海北陸自動車道一部四車線化完成式典



2021年 (令和3年)

- 4月 3日 南砺つばき学舎開校
- 4月 6日 南砺利賀みらい留学 入園式
- 6月 2日 児童精神科専門「南砺市子どものえがおクリニック」開院
- 11月 1日 なんとエナジー発足
- 12月26日 市民病院JCI認定取得
- 1月 4日 住みたい田舎ベストランキング 北陸一 7年連続

2024年 (令和6年)

- 1月 1日 能登半島地震
- 2月 7日 インターハイ開幕
- 2月22日 東京にてU35交流会開催
- 5月18日 クラフトヴァレーデザインヒューマンビジネスセンター開設
- 6月 3日 有機米 五万石 五箇山販売発表
- 7月20日 一般県道安居福野線 川崎橋開通式
- 8月11日 綿貫民輔銅像完成式
- 8月11日 利賀ダム本体と押場貯水法面対策着工式
- 8月19日 小松市と連携協定締結

2022年 (令和4年)

- 4月 5日 南砺利賀みらい留学第二期13名
- 5月28日 利賀ダム転流工トンネル着工式
- 8月27日 南砺福野高校郷土芸能部 国立劇場公演
- 1月18日 ゴールドウィン「play earth park」発表。
- 2月10日 にゃんと市観光協会設立 地域おこし協力猫任命式
- 2月11日 南砺市こどもの権利条例 制定記念式典
- 2月11日 南砺市と武蔵野市友好交流50周年記念式典
- 3月 1日 ソフトバンクと包括連携協定



2023年 (令和5年)

- 4月 1日 南砺ひととみらい協同組合設立
- 5月 5日 城端曳山まつり巡行300年祝賀式
- 7月30日 城端線の検討始まる。
- 10月23日 城端線があいの風とやまへ移管決定
- 10月26日 全国過疎問題シンポジウム
- 11月12日 たいらクロスカントリー場ローラースキーコース完成



田中幹夫 男の公約

みきお



「住民幸福度」を
高めます。

「物質的な豊かさ」より
「心の豊かさ」が大切です。
「文化遺産の保護と伝統文化の
継承・振興」と「豊かな自然
環境の保全と持続可能な利用」
を積極的に取り組みます。

「住民満足度」を
高めます。

こんな時代だからこそ
「協働」が必要です。
積極的に対話集会を行い
自らの言葉で情報公開し、
市民の皆さんとともに
まちづくりを進めます。

協働のまちづくり「結(ゆい)」
行動する市役所を実現します。

南砺の大地に8つの根を張って、
しっかりした幹が、未来の
大きな実りをもたらせます。

●プロフィール

■生年月日

1961年(昭和36年)9月23日(63歳)当時利賀村上島に生まれる。

■学歴

富山県立八尾高等学校普通科卒業 1980年(昭和55年)3月卒業
工学院大学電気工学科卒業 1984年(昭和59年)3月卒業

■職歴

1984年(昭和59年)4月 YKK吉田工業入社(ファスナー技術部)
1989年(平成元年)4月 利賀村役場に奉職
2004年(平成16年)11月 南砺市議会議員に初当選
2008年(平成20年)11月 南砺市長に初当選
2012年(平成24年)10月 南砺市長に再選(2期目)
2016年(平成28年)11月 南砺市長3選(3期目)
2020年(令和2年)11月 南砺市長4選(4期目)現在に至る

■現職

活力ある地方を創る首長の会 会長
(全国の知事、市区町村長330名が参加)
地域共生政策自治体連携機構 代表理事
(全国市町村長 280名が参加)
一社 農村文明創生日本塾 代表理事
(全国市町村長 30名が参加)
一社 文化と教育の先端自治体連合 会長(5自治体参加)
航空防災協議会 会長(10自治体参加)
大阪関西万博首長連合 会長代行(660自治体参加)
全国治水期成同盟会連合会 理事
全国治水砂防協会 評議員
全国山村振興連盟 理事
富山県水源林造林協議会 会長
富山県治水砂防協会 会長

若い頃から田中幹夫は.....

- ・そば打ちで地域おこし
- ・高校時代はボート部でインターハイ出場
- ・全国市町村交流レガッタ大会 議員の部で全国優勝メンバー(平成17年)
- ・限界集落の挑戦 上島アートを開催(平成17年)
- ・富山県スキー連盟役員として全国大会運営に影の力に!
- ・現役子育て期には活発にPTA活動を。
- ・交流による地域づくりを実践 ネパール 韓国 武蔵野市との交流

趣味/そば打ち
(素人2段 最近は打ってないが...)

特技/ボート(レースから公園まで)
家族構成/母 妻 一男二女 孫は5名
好きな言葉/「知足利他」「至誠通天」



Ameba blog
「南砺市長 田中幹夫 ちょっと一息」
<https://ameblo.jp/nanto-tanaka>

田中幹夫オフィシャルサイト



田中幹夫
事務所

〒932-0231 南砺市山見746-3

TEL 0763-82-5296 FAX 0763-82-5294

詳しい「田中みきおの約束 政策集」はこちらからご覧頂けます <https://www.tanakamikio.jp> 検索

